

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590400255		
法人名	医療法人仙知会		
事業所名	グループホームかけはし		
所在地	秋田県大館市松木字大上122番地5		
自己評価作成日	令和元年10月10日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が自宅で生活していた時と、あまり変化のない様に環境づくりを支援しております。ホームからの眺めは、夏の大火字焼きや花火が良く見えます。また、大館駅裏なので電車を眺める事も出来ます。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団		
所在地	秋田市御所野下堤五丁目1番地の1		
訪問調査日	令和元年11月13日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

毎月のかけはし通信では、利用者の写真と様子が書き添えられていて、利用者一人ひとりとご家族の為のお便りになっており、その方の現在の状況をご家族に理解してもらえる工夫がされている。入居者同士が毎日楽しく過ごせるよう、あえて決まった日課を設定せず、その日に興味を持った活動が出来ることで、利用者も職員も笑顔が多い。利用者が慣れ親しんだ方言の方がコミュニケーションが図りやすいことから、失礼のないよう配慮しながら、あえて方言で話すよう心掛けている。設立後3年が経過し、町内の運動会へ参加したり、9月のお祭りではお神輿が来てくれたりと、地域との付き合いは良好で、地域の中の事業所として認められている。職員が採ってきた山菜や、職員手作りの漬物等が食卓に並ぶなど、実にアットホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	常に目の付く場所にはかけはし理念を掲げており、全職員で共有し実践しております。	理念を基に、職員間で話し合い、「毎日声を出して笑う事ができる」との事業所独自の今年度の目標を設定し、実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々となかなか会う機会がありませんが、買い物に出かけ、顔見知りの方と合った時には雑談をしています。	設立後3年が経過し、町内の運動会へ参加したり、9月のお祭りではお神輿が来てくれたりと、地域との付き合いは良好で、地域の中の事業所として認められている。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	運営推進会議や施設見学を通じて認知症の方への理解や支援内容を伝えておきます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所担当職員、地域包括支援センター、町内会会長、副会長、民生委員、利用者代表の方に参加して頂き、日常生活の報告をし情報交換をしております。	認知症が進んだり、身体的に重度になった時の対応等、活発な意見交換がされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を通じて状況報告をさせて頂いております。また、市町村担当者からご指導や助言を頂いております。	他の施設の状況や、虐待等の情報交換を行ったり、グループホームの人員基準や配置義務等を電話で確認したりと、協力関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体拘束について研修会を開催し理解しています。但し夜間のみ安全確保の為、玄関の施錠をさせて頂いております。	前年度1件の事例があったが、現在対象者はいない。身体拘束については毎年研修を開催している。	身体的拘束適正化検討委員会を行った際の記録等の整備に期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修会やマニュアルを常に目を通すようにしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援を受けている方がいた時があり、職員は理解しております。成年後見制度については、機会があれば学びたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、解約時において納得して頂けるように説明させて頂いております。また改定時は、内容をお知らせし署名捺印を頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の希望はなるべく実現出来るように支援しております。また家族等については、玄関に意見箱を設置しております。毎月かけはし通信で、個々の写真や近況報告をし、面会時に意見や要望を聞くようにしています。	面会時や、遠方のご家族へは電話等で意見を聞くようにしている。また、自分から話すことが難しい利用者については、一緒に生活していることで、行動面や日常の会話から感じ取るよう努力している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	サイボウズを媒体として利用し、職員の意見や提案を聞き、運営に反映させています。	弘前市にある法人本部との連絡ツールにクラウドサービスを活用しており、職員各自がそのツールを利用し、要望や提案を行っており、職員相互の連絡についても非常にスムーズである。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況、労働時間等に関しては本部人事労務課で状況を把握し、職場環境・条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員との個別面談を適宜行い、職員一人ひとりのケアに努めています。法人外研修の機会を設け、費用は法人で負担しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の青森県弘前グループホームさくらや、能代グループホームまつかぜと連携を図っています。ネットワークを通じての交流や連携を通じてサービスの向上に取り組んでおります。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様とコミュニケーションを取りながら、困りごと等気づきを早く出来るように努力しております。その中で、要望など把握するように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期面談において家族様の希望や要望を傾聴し、信頼関係を築けるように努めています。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、利用者様の喜怒哀楽に理解をしようと努めています。身体能力に応じた力を発揮して頂いて共同生活を進めています。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、家族との信頼関係を継続出来るように支援しています。家族からの電話や毎月のかけはし通信で暮らしぶりを伝えています。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	顔馴染み方が見られる場合はゆっくり談話を楽しまれるように配慮しています。かかりつけ病院の支援や、馴染みの理髪店との関係を支援しております。	広い談話室が整備され、面会時にゆっくりと過ごせるよう配慮されている。近隣の理髪店を利用したり、お盆・正月の帰省等、外出や外泊の機会も多い。又、電話の子機を活用し、本人と家族の電話を取り次ぐ等、関係継続に取り組んでいる。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を常に把握しています。また孤立しないように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後の関係を必要に応じて支援しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の思いを大事にし生活の希望をお伺いして、出来るだけ実現できるように支援しております。	常に利用者との会話を大事にし、食べたい物など聞き取り週1回は麺類にしたり、季節の果物を提供したりしている。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴については本人様や家族様、及び前任の担当ケアマネから情報収集させて頂き現在の生活につなげている。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタル測定や排泄状況、食事の摂取量と水分摂取量を把握し、その人個人の1日の過ごし方を見極め、個人に合った支援ができるように努めている。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族の意見、希望などを取り入れた個々のアセスメント、月末のモニタリングを繰り返すその時に合った介護計画書の作成をしている。	毎月全職員が全利用者に対してのモニタリングを行い、計画作成者がケースカンファレンス記録を作成し、計画書に反映させている。利用者の本音はさりげなく入浴時に聞き取れることが多く、計画に反映させている。	
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ケースや連絡ノートに日中問わず様子を記録し、職員間で共用し、今後の計画見直しに役立っています。		
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的な運営推進会議を開いています。市や包括支援センター、町内会会長、副会長、民生委員から参加をして頂いております。また避難訓練では、消防署からの協力及び助言。時には警察署から相談協力を得ています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	継続的な医療を受けられるよう、生活状態や、心身状態を報告しながら、本人の希望を大切にしながらかかりつけ医により支援して頂いております。かかりつけ薬局には薬を届けてくれるよう協力して頂いている。	家族の協力の元、かかりつけの病院への受診を継続しており、家族の付き添いを基本としているが、緊急時や家族の対応が難しい時は職員が対応している。薬についての相談も薬局に電話で行い返答をもらうなど、良好な関係となっている。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	個々のかかりつけ医院とは連絡を取り合っていますが、看護職は在籍しておらず訪問看護については、今のところ相談協力はしていません。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族と共に早期退院にむけて話し合いを出来るように、努めています。療養に必要な情報交換をしています。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に説明しています。施設でどこまで対応できるか把握し、必要時は地域関係者と共に支援しています。	重度化や終末期の際の対応について、契約時に口頭で説明している。看取りは行わない方針の為、重要事項説明書に記載していた看取りの部分を削除し、本人家族とも看取りを行わないという共通認識が持てるように配慮した。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急の対応マニュアルを作成をしています。また職員は利用者様の急変時に救急車を呼ぶようになっています。また応急手当が出来るように、救命入門コースに参加しています。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導に基づいて緊急時の避難訓練を年2回実施しています。また、近郊住民の連絡先を常に職員が見えるところに掲げています。常備食、ランタン、反射ストーブ、発電機の準備をしています。	年2回の消防立ち合いの元、避難訓練を行っている。日中・夜間それぞれの想定で訓練し、講評頂いている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの個性を把握し対応しています。プライバシーを損ねない様に、傾聴し支援するように心がけています。	利用者が慣れ親しんだ方言の方がコミュニケーションが図りやすいことから、失礼のないよう配慮しながらあえて方言で話すよう心掛けている。入浴は1対1で行い、必ず、着替えて脱衣所を出てから次の人が入るよう配慮している。失禁時も他の方に気付かれないよう配慮した声掛けを行い、風呂場で交換できるように、あらかじめ脱衣場でリハビリパンツを準備している。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、職員はコミュニケーションを図りながら希望や思いを傾聴し、多く実現出来るように支援しています。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のその人らしさを大切にしています。希望を聞き入れ、それにあつた支援しています。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪、整容、お化粧品等好みの品物を持参しており使用しています。また、2ヶ月に1度のペースで馴染みの理髪店から散髪をした頂いています。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様に下準備や後片付け等手伝って頂いております。食べこぼしのサポートや、見た目でも楽しめるように工夫しています。	栄養士が作成した献立が毎月本部から送られてくるので、それを参考に入居者の要望を踏まえた内容にアレンジしている。地域の方や職員が撮ってきた山菜や手作りの漬物等、季節を感じる事のできる食事となっている。又、紅ショウガやカラーピーマン等を使用し、特に彩に工夫している。敬老会には赤飯、週に1度は麺類、来客時はだまこが定番である。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事量、水分量の把握をしています。個々の体調や主治医の指導のもと支援しています。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の清潔保持を支援しております。特に夕食後の義歯洗浄剤を使用して清潔保持に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄が出来るように支援しています	チェック表を使用し利用者個々の排泄の声掛けをしている。トイレの回数が頻回の方は、ホール近くの居室にし、ポータブルトイレを使用したりと工夫している。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの排泄パターンを把握し、水分摂取や食品に工夫し努力しています。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	日々の健康チェックをし、体調観察や意見を取り入れて、ゆっくり楽しんでいただけるように支援しています。	いつでも入浴ができるような体制になっている。少なくとも週2回は入浴できるように配慮し、入浴拒否する方もいない。脱衣室はとても温かく、温度差を感じさせないよう配慮している。丁寧な垢すりを希望している方は順番を最後に設定する等、個々の要望に沿えるよう支援している。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの睡眠パターンを把握しています。時には状況に応じて原因究明をし、安眠に向けて支援しています。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬内容が分かるようにファイルを設けています。服薬時の誤嚥や飲み忘れがないように努めています。また、状態変化があれば家族や主治医へ報告しています。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の楽しみ方にそれぞれの違いがあり、他利用者様に配慮しながら生活できるように支援しています。また、主治医の指示により嗜好品制限されている方は、周りに配慮しながら支援しています。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族様付き添いでの外出や外泊があるときは楽しめるように支援しています。また、地域の方々と触れあえるよう行事見学等支援しています。	事業所の近くで路を採ったりと、日常的に外に出る機会を作っている。又、利用者の意見を聞き取り、行事に組み込んだりと、利用者の要望を取り入れるように努力している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は本人様の意思や家族の希望を反映し買い物同行しています。個人で所持している方には、周りに配慮しながら、助言や支援をしています。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様からの家族等の連絡希望は、ほとんどきかれませんが、家族様からの電話には、取り次ぎを支援しています。郵便物は、本人様に渡しています。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間や居室は、気温調整と照明調整を常に不快感がない様に支援しています。また共有部分には入居者様と共に作成したポップ等を展示しています。	利用者と職員が協力して作成した作品は、立体的な柿の木で、季節感あふれる共用空間となっている。椅子の足にはテニスボールを再利用し、滑りにくいよう工夫されている。職員が毎日掃除機をかけており、掃除が行き届いている。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が思い思いに過ごせるように、安全面や体調面に配慮しながら座席の配置をしています。日々、テレビ観戦やパズルゲーム、席の移動での会話等を支援しています。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様と家族と相談しながら、身体機能や安全面を考慮しながら居室空間づくりをしています。安眠の為、枕の持参もお願い頂いたりしています。	基本的に寝具は施設で準備しているが、自分の枕を希望する人は、持ち込んでいる。個々の信仰に配慮し、枕元に神棚を持ち込んだり、テレビの音で落ち着く人はテレビを持ち込んだりと、自由な居室の空間作りができており、動線も確保されすっきりとした空間となっている。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部全体においては、安全性を重視した移動ができ、一人ひとりが自由に生活できるように工夫しています。また、張り紙や居室を間違えないように造花で入り口を飾ったり支援しています。		